

8. 北アルプス地域

8-1 地域特性など

- 北アルプス地域は県の北西部に位置し、大町市、池田町、松川村の3市町村は松本盆地の北部に市街地が形成されています。また、北部の白馬村は白馬盆地に、小谷村は姫川の流域に居住区などが形成されています。この北部2村は特別豪雪地帯にも指定されています。
- 南側で接する松本地域との流動が最も多く、これに次いで長野地域との流動がみられます。新潟県とも県境を接しており、流動は一定のものがあります。
- 商業施設、病院、高等学校などがまとまって立地している地区として、大町市中心部、池田町中心部などがあります。
- 主な観光地としては、北アルプスの山岳・自然資源を活かしたものが多く、冬のスキーに加え、近年ではグリーンシーズンの観光客も増えてきています。また、西に隣接する富山県の黒部ダムは大町市扇沢がダム行きの電気バスの起点となっており、20分程度でアクセスできます。大町温泉郷は立山黒部アルペンルート観光の拠点にもなっています。
- 北アルプス地域は外国人観光客が多いことも大きな特徴となっています。

8-2 地域公共交通の概況

- JR大糸線が南北を縦貫し、南は松本駅で篠ノ井線に接続、北は新潟県の糸魚川駅で北陸新幹線及びえちごトキめき鉄道に接続しています。南小谷駅以南はJR東日本、南小谷駅以北はJR西日本と運営が分かれており、運行本数なども異なります。
- 長野市からは長野・大町（扇沢）線及び長野・白馬線、また、白馬山麓のスキー場エリアを結ぶ路線として白馬・八方・樺池線があります。
- 市町村界を越えるコミュニティ路線として大町市民バスが3路線あり、支所地域等から大町市街地を結んでいます。また、鉄道駅のない池田町も町営バスを運行しており、JR大糸線の信濃松川駅、穂高駅、JR篠ノ井線の明科駅までを結んでいます。
- 各市町村においては、市町村民バス、福祉バス、デマンドタクシーなど、地域の実情にあったバスやタクシーが運行され、通院や通学、買い物など地域住民の生活の足としての役割を担っています。

8-3 地域公共交通の課題

- 地域の日常生活においては、大町市街地、白馬村中心部、池田町中心部等へのアクセスが必要で、そのためにJR大糸線の各駅への接続が確保されていることが非常に重要となります。JR大糸線及び長野・白馬線に接続することで、松本市、長野市など地域外への移動にも対応できます。
- JR大糸線については、松本～信濃大町間については、1日を通じて十分な運行本数があるものの、信濃大町～南小谷間、さらに南小谷～糸魚川間は数時間近く空く時間帯もあります。また、南小谷駅で乗り換えのための待ち時間も長くなるケースが多いなど、利便性に課題がある状況にあります。南小谷～糸魚川間の利用者数が多いとはいえないことから、沿線自治体から構成される活性化協議会などで利用促進に努めています。
- 地域公共交通の利用者、特に総合病院への通院や高校通学に市町村域を超えた移動が必要な高齢者や高校生などの利用促進・利便性向上に向けて、圏域内の市町村域をまたぐ広域的な路線の構築・充実に向けた検討が必要と考えられます。
- 利用者の利便性向上のため、圏域間（内）連携軸であるJR大糸線の主要駅から周辺的生活関連施設や観光拠点にアクセスする二次交通を充実させる必要があります。

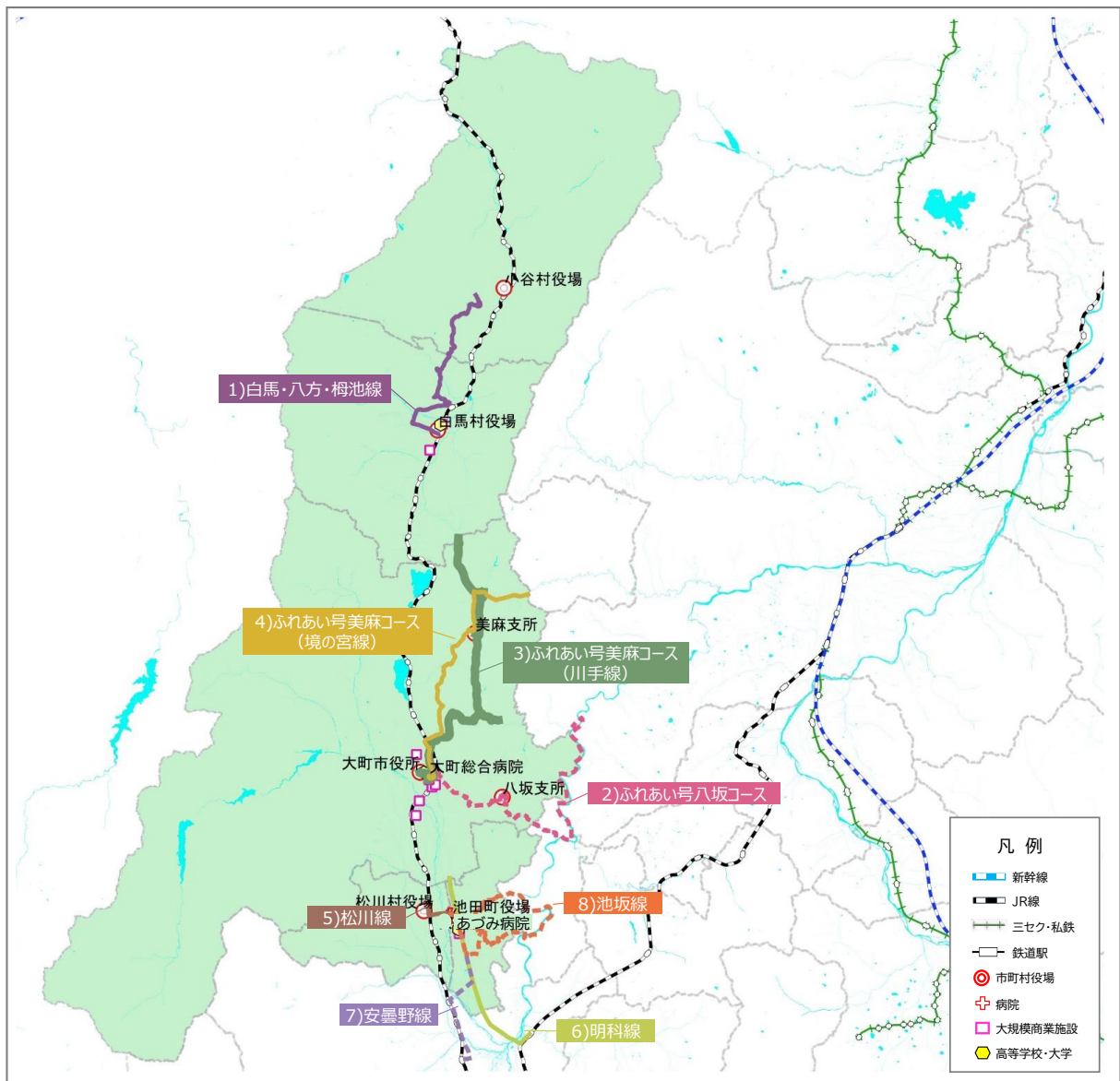
市町村界を跨ぐバス路線の状況

※市町村界は平成の大合併前の区分のもの(要綱に則り)
 ※高速・特急バスは別途

(データの年次について)

※事業者系路線=令和4年度のもの(国庫申請額は令和6年度)

No.	路線種別	運行事業者(委託先)	路線名	路線距離	運行便数(往復数)	利用者数(輸送人員)	収支率	国庫申請額(千円)
1	事業者路線 (その他一般路線)	アルピコ交通	白馬・八方・榑池線	13.7	2.5			
2	コミュニティ路線 (廃止代替含む)	やまびこ	ふれあい号八坂コース	28.4	6.5			
3		北アルプス交通	ふれあい号美麻コース (川手線)	28.0	5.0			
4		北アルプス交通	ふれあい号美麻コース (境の宮線)	28.0	6.0			
5		安曇観光タクシー	松川線	8.4	7.5			
6		安曇観光タクシー	明科線	13.2	6.0			
7		安曇観光タクシー	安曇野線	11.1	6.0			
8		安曇観光タクシー	池坂線	24.7	3.0			



8-4 地域公共交通の将来ネットワーク

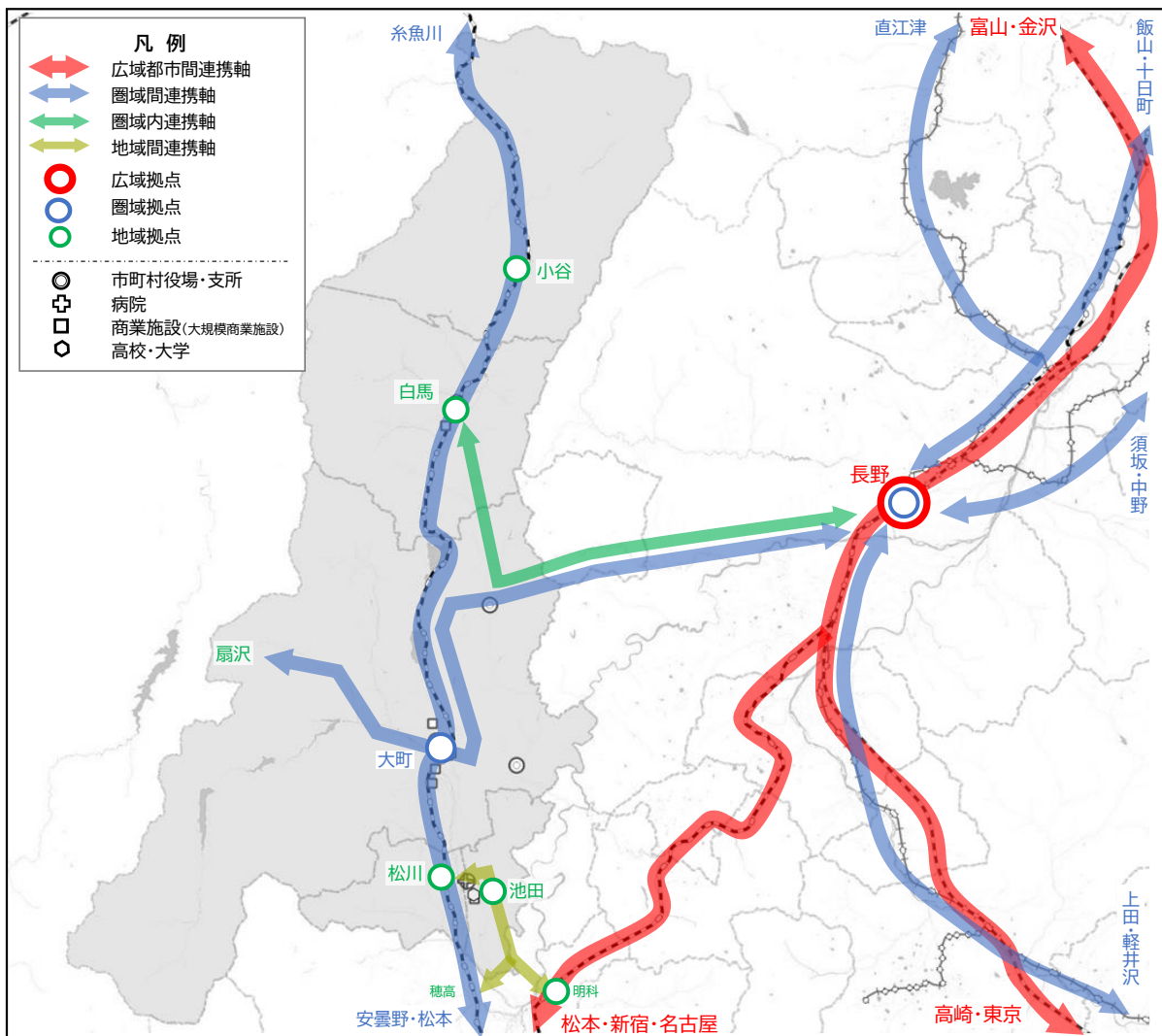
A 【広域都市間連携軸】

北アルプス地域内には広域都市間連携軸が設定されていませんが、長野駅で北陸新幹線と篠ノ井線、松本駅で篠ノ井線へ接続させることで、広域的なアクセスを担保します。

B 【圏域間連携軸】 松本～北アルプス～新潟(上越)／長野～北アルプス

地域の南北軸として走る JR 大系線は地域住民の日常移動や観光を支える重要な路線となっています。圏域間連携軸として位置づけ、その維持を図るため、運行事業者が沿線市町村とも連携し、路線の活性化、利用促進に取り組んでいくものとします。

長野・大町（扇沢）線についても圏域間連携軸と位置づけ、（必要に応じて）国・県の地域間幹線系統補助の活用についても検討を進めます。



C【圏域内連携軸】

北アルプス地域においては、圏域内連携軸として長野・白馬線を位置づけます。なお、JR 大系線は圏域間連携軸のみならず圏域内連携軸の役割も併せ持つものと位置づけます。また、今後は JR 大系線のさらなる利活用や圏域内連携軸に該当するバス路線などの検討も必要と考えられます。

D【地域間連携軸】

鉄道路線が各市町村の中心部（地域拠点）付近を通っているものについては、当該路線が地域間連携軸も兼ねるものとしませんが、地域拠点が鉄道駅から離れている町については、バス路線等での接続を図ります。具体的には池田町営の3路線のコミュニティバスが該当し、JR 大系線の信濃松川駅、穂高駅、JR 篠ノ井線の明科駅に接続します。

拠点と軸の設定

区分	名称	位置づけ	具体的な路線・拠点	
拠点	広域拠点	・三大都市圏などと接続する 県の玄関口	—	—
	圏域拠点	・圏域の中心地	大町市	・大町(信濃大町駅周辺)
	地域拠点	・各市町村内における 交通結節点、目的先施設 ・主要観光地	池田町	・池田(あづみ病院・町役場周辺)
			松川村	・松川(信濃松川駅・村役場周辺)
白馬村			・白馬(駅周辺)	
小谷村	・小谷(南小谷駅・村役場周辺)			
軸	広域都市間 連携軸	・三大都市圏などに 連絡する軸	—	—
	圏域間連携軸	・隣接県や県内の他圏域と 連絡する軸	鉄道	・大系線 [JR東日本(南小谷以南)] ・大系線 [JR西日本(南小谷以北)]
			バス	・☆長野・大町・扇沢線 [アルピコ交通]
	圏域内連携軸	・市町村間の移動を支え 圏域拠点を結ぶ軸	バス	・長野・白馬線 [アルピコ交通]
	地域間連携軸	・地域拠点間を結ぶ軸	バス	・松川線[池田町営] ・明科線[池田町営] ・安曇野線[池田町営]

★ = 国・県の地域間幹線系統補助対象路線

☆ = 国・県の地域間幹線系統補助の対象となる可能性がある路線